

モニタリング結果報告書

施設 あいかわ公園
指定管理者 公益財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団
施設所管課 厚木土木事務所

(平成 23 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）

B

<判定理由>

公園の魅力向上のため、宮ヶ瀬湖周辺拠点との連携や、農協と連携した取り組みを積極的に進めるなど提案どおりに実施し、広報活動や魅力的な施設作りに積極的に取り組んだ。

また、今期は利用者数が前年対比で 10%増加していること、経費の節減等により、良好な収支状況であること、苦情・要望等の対応状況も問題ないことからB判定とした。

A：提案を上回る取り組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。

B：提案どおりに取り組みを実施し、良好な管理運営状況である。

C：提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。

D：提案どおりに取り組みを実施していない。また、提案どおりに取り組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11/10	11/26	○	○	○	なし	
11月	12/10	12/26	○	○	○	なし	
12月	1/10	1/26	○	○	○	なし	
1月	2/10	2/26	○	○	○	なし	
2月	3/10	3/26	○	○	○	なし	
3月	4/10	4/27	○	○	○	なし	

3 指定管理者が提案した取り組み等の実施状況

（指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取り組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。）

<提案内容の概要>

- ① 宮ヶ瀬湖周辺3拠点を含めた公園のPR及び公園情報の効果的な提供
- ② 利用者の満足度を向上させる仕組みづくり
- ③ 利用者の再訪（リピーター）を促す魅力づくり
- ④ 実行委員会方式などによるイベントの開催

<実施状況>

- ① 11月下旬からクリスマスフェスタを開催した。芝生広場内のもみの木などを装飾し、昼間はあいかわ公園、夜は宮ヶ瀬湖畔園地のクリスマスツリーという一体感を生み出した。
- ② アンケートで要望が多かったパークセンターでの軽食販売（菓子、パン、ホットスナック）を、2月から試行している。今後は、利用状況を調査して販売品目を検討し、利用者のニーズに合う売店を目指す。
併せて、工芸工房村内の地場産品販売をパークセンターへ移設したところ、購入者が多くなった。今後は、利用状況を把握し、次年度の運営に繋げて行く。
その他、遊具が利用できない幼児が楽しめるキッズコーナーを設けて、小さな子連れの家族への利便を図った。
- ③ 10月から、愛川農協の協力で毎月第3日曜日の「花の日」にあわせて、野菜の即売を行う「野菜の日」を開催し、好評を得ている。
また、10月から、地元のボランティア団体の協力により、幼児などを対象に、昔ばなしや絵本の読み聞かせを行う「たのしいおはなし会」を開催している。
工芸工房村では、伐採木を利用したベンチ作り等を開催し、環境に配慮した運営をPRした。
さらに、月例イベントとして、ミニ牧場、革工芸教室、ドライフラワー教室、和紙で遊ぼう、木竹工体験などを開催した他、自然体験イベントを愛川町教育委員会と共同で開催した。
週末には必ずイベントを実施する目標で、来園者の利用促進に努めている。
- ④ 11月6日（日）に愛川町で活動しているNPO法人愛川サライ主催のイベント「中津川モンゴルフェスティバル」を指定管理者との共催で開催した。
内容は、モンゴル相撲トーナメントやモンゴル民謡の披露、民族衣装披露や移動式住居の展示、軽食コーナーや地元有志のバンド演奏などを行い、モンゴルの文化交流や地元団体との連携を図った。天候不良のため、参加が少なかったが、引き続き地元団体とは連携を図り、公園の利用促進に努めて行く。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額 今期 (前期)	142,668 (141,458)	114,598 (114,598)	0 (0)	28,070 (26,860)	142,668 (141,458)	0 (0)
下半期予算 額	70,835	62,365	0	8,470	70,835	0
10月	12,133	8,451	0	3,682	12,979	△846
11月	12,338	8,626	0	3,712	12,651	△313
12月	13,378	12,698	0	680	9,622	3,756
1月	11,304	10,916	0	388	11,886	△582
2月	11,304	10,916	0	388	13,191	△1,887
3月	12,128	10,758	0	1,370	20,838	△8,710
今年度 半期計	72,588	62,365	0	10,223	81,169	△8,581
前年度 同期計	72,873	60,947	0	11,926	82,059	△9,186

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

- ① 該当なし
 ② 上半期分の収支差額を用いて、下半期のうちに4月下旬にある公園最大のイベントである「つつじまつり」やゴールデンウィークに備えた植物管理や施設管理などを実施したため、支出が増加している。
 ③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状態をよりの確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	0千円	
下半期	1,876千円	崩壊法面の土留柵設置工等(1,876千円)
総額	1,876千円	

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

⇒特に無し

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。

積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	44,147人	32,947人	34.0%
11月	46,003人	43,272人	6.3%
12月	22,934人	24,714人	△7.2%
1月	25,937人	29,859人	△13.1%
2月	19,254人	19,977人	△3.6%
3月	27,834人	18,838人	47.8%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	無し	273,227人	260,375人	---%	4.9%
今年度下半期計	無し	186,109人	169,607人	---%	9.7%

利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

該当なし

6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

下半期報告	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	25 (0)	25 (0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・売店があると良い	パークセンターで2月から軽食コーナーを試行した。
	・目印がもう少しあると良い	今後、公園内で統一したサイン計画を施設所管課と調整する。
職員対応	・遊具で職員がきちんと対応してくれる	今後とも職員教育に努める。
	・規則が多いが事故防止のため仕方が無い	今後とも職員教育に努める。
事業内容	・工芸工房の体験の種類を増やしてほしい	工芸工房村は、愛川町の工芸をベースとした体験施設のため、他のイベント等で実施を検討する。
その他	・工芸工房村の食堂の衛生管理について、札を握った手を洗わずに食器に触れたり、マスクをしないで調理をする等不衛生に感じる。	直ちに飲食ブース運営者に事実確認を行い、法令に定められた運営の徹底を指示した。

8 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

⇒該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>下半期は地元農協との野菜販売や地域ボランティア団体によるお話会、工芸工房村での伐採木を利用した木竹工体験を実施し、利用促進方策の充実を図りました。</p> <p>その他、パークセンター内での軽食販売及び町観光協会運営の地場産品販売の試行を行い、利用者の意見をパークセンターでの利便の充実に反映しました。</p> <p>しかしながら、閑散期である12月～3月は利用者数が前年を下回った月がほとんどであったことから、次年度の閑散期の利用促進について検討を進めます。</p> <p>今後も、公園運営のソフト面を向上させると共に、利用者の要望や意見を踏まえた安心安全な公園運営に努めていきたいと考えています。</p>
施設所管課	<p>日常の安全管理及び巡視が行き届いており、来園者に好印象を与えている。</p> <p>伐採木を利用した工作体験など森林資源を有効活用したイベントを実施し、地元農協と連携した野菜販売を行い、好評を得ている。</p> <p>今後も、継続して、効率的な情報発信や魅力的なイベント開催を行うとともに、来園者のニーズを把握して、的確に対応することで、満足度をより高めて、来園者増加につなげて欲しい。</p>